

<TULIPプロジェクト～薬薬連携を支える薬剤部スタッフにインタビュー！> 第1弾 田中友紀 薬剤師

齋藤 9月に開催された「薬薬連携を充実させるための研修会」の第1回目はどんな会でしたか？テーマや内容について教えてください！

田中 テーマは大腸がんでした。当院薬剤師による消化器がんについての講義があり、続いて医師による質疑応答がありました。当院の薬剤師が考えたよくある疑義照会を医師に答えていただくという内容です。その後はDI室担当者によるホームページやレジメン紹介。最後に部長からの挨拶がありました。それから希望者には少人数のグループワークに参加していただき、講義内容についての振り返りや感想をいただきました。

齋藤 盛りだくさんの内容でしたね！

田中 薬剤師による講義は、普段がんに慣れていない人が聞いてもとても分かりやすい内容でした！それから当院ならではの支持療法や副作用のレベルの話(CTCAE)など、調剤薬局では馴染みが薄いけど、病院や医師にとって当たり前な話をしっかり説明してくれたから良かったという意見もありました。

齋藤 ZOOMを使ったオンライン形式での開催はどうでしたか？

田中 みんなの前ではなかなか質問しづらいことも、グループワークで少人数にすることで聞きやすい環境になるのはメリットでした。オンラインだからこそ、門前薬局に限らず、遠くの薬局の方にご参加いただけるのもいいですね。

齋藤 第2回目はさらに多くの薬局薬剤師さんにご参加いただけるようですね！今後もこの研修会を通してどんな薬薬連携にしていきたいですか？

田中 調剤薬局にとって当院の院外処方せんのここが引かかるよね！という部分に答えていけたらいいですね。当院ならではの、がん薬物療法ならではの処方についての疑問に答えていけるような薬薬連携になればいいなと思っています。薬剤師はこう思っているけど、医師はこう思っているというような違いも埋めていければ！そういう質問もいっぱい増やしていきたいです。

齋藤 ありがとうございました！当院が発信する薬薬連携TULIPプロジェクトから今後も目が離せませんね！



田中友紀



記事：齋藤麻衣